

日本学生オリエンテーリング連盟  
会長 河合 利幸

今世紀最後のインカレクラシック・リレー競技大会が、11月のショート競技大会に引き続き、日光で無事開催される運びとなりました。日光は、山岳信仰の地として古くから親しまれてきました。12月には、日光の史跡が世界遺産に登録されています。我々オリエンティアにとっては、大会開催の諸条件が整った日光は、まさにインカレの総本山ともいるべき地であります。本大会は22回目を数えることとなりましたが、日光では4回目、ショート大会を加えると何と6回目の開催となります。これもひとえに学連および地元の関係各位のご尽力の賜と言えます。

一方、現在の日本の学生オリエンテーリング(以下OL)界を取り巻く社会的な環境は、決してよいとは言えません。長引く不況からは、直接的にも間接的にも何らかの影響を受けていると思われます。例えば、インカレは実行委員となってくれるOBがいなくては成り立ちませんが、企業に勤める社会人OBの中には、OLや学連どころではないという方々も増えているのではないかと思います。また、企業や自治体では、マイナーなアマチュアスポーツへの理解や援助が切り捨てられることが多々あります。

こうした厳しい状況の中、インカレが継続して開催されていることは、大変素晴らしいことです。OBと参加者の学生諸君が一体となって運営してきたからこそ今日のインカレがあります。参加者の学生諸君には、このことを心の片隅にでも留めておいてほしいと思います。そして、全力でインカレを「楽しんで」ほしいと思います。今後のインカレの発展は、参加者の皆さんのがどれだけ「楽しめたか」そして、卒業後は後輩たちにも、という気持ちが鍵を握っています。

最後に、繰り返しになりますが、仕事や育児、勉学の忙しい合間を縫って準備を進めていただいた実行委員会の皆さん、本当にご苦労様でした。後はいよいよ本番を残すのみです。そして地元関係者の皆さんには、今回も様々な面でご協力いただき本当に有り難うございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

日本学生オリエンテーリング連盟  
幹事長 西脇 正展

11月にインカレショートが行われた同じ日光において今度はインカレが開催されます。我々学生オリエンティアにとってインカレは最大の大会であり、また祭典であると言われます。こうしたすばらしい大会を開いていただけることは非常に光栄なことだと思わなければならないでしょう。

僕も含め、多くの人がインカレを目標にして一年間努力してきているのであり、毎回その期待に答える「舞台」を準備してくれる実行委員会の方々には感謝に絶えません。また、ご協力くださった地元の方々への感謝も忘れるわけにはいきません。

円熟期に入っているインカレですが、近年は日本学連全体の加盟員数減少の影響による参加者減が危惧されています。パンフレット作成による新歓補助などを行なってはいますが、中々効果を上げられずにいます。しかし、インカレにはそうした状況を吹き飛ばすような盛り上がりを今年も期待しています。リレー改革などの話し合いも行なわれていますが、どういう状況になっても同じく盛り上がるすばらしい大会であり続けて欲しいと思います。

僕にとって一年目のインカレとなった奈良インカレは非常に印象深いものでした。聞いているだけではインカレの本当の魅力は伝わりません。言葉では伝えきれない魅力を肌で感じてもらえるような「インカレ」に今年もしましょう。

インカレがインカレたる所以とは何でしょう？先に述べたように実行委員会の方々の献身的な努力により、「舞台」は準備していただけます。しかし、それだけではこれほどに盛り上がるすばらしい大会にはならないでしょう。結局それを作り上げるのは私たち学生一人一人なのです。競技が行われるのは結局はたったの二日間ですが、インカレは前年度インカレが終った時から始まるといいます。今回の日光インカレは山口インカレが終った時点で始まり、二日間に全てが凝縮されて終るのです。一年間の集大成にふさわしい「インカレ」に皆でていきましょう。

歓迎のことば

歓迎のことば

今市市長 福田 昭夫

全国各地からの大学生の皆様を、水と緑と花にあふれる『オアシス都市』今市市と世界的な観光都市である日光市にお迎えし、第22回日本学生オリエンテーリング選手権大会が開催されるにあたり、心からの歓迎とお祝いを申し上げます。

今回の会場地であるここ今市市は、世界一の並木道としてギネスブックに登載されている日光杉並木街道を有し、価値ある歴史・文化遺産として21世紀へ向けての保護をとおし、“杉並木のまちづくり”を進めております。

そこで昨年当市におきましては、世界一古い『屋久杉』のある鹿児島の屋久町および上屋久町、世界一大きい『セコイア杉』のあるカリフォルニア州の代表者をお招きし、『世界三大杉環境サミット』を開催いたしました。世界一の杉を後世に残し、自然と人間が共存できる環境づくりを目指して、情報の交換、サミット宣言の発信等を行ったところであります。今後も、オリエンテーリングの会場地としてふさわしい、豊かな自然を21世紀に残すよう、最大限の努力を続けてまいり所存であります。

母校の名誉と期待を担い参加される選手の皆様には、日頃の鍛錬に敬意を表するとともに、今市・日光両市のすばらしい山野を肌で感じていただき、日頃のトレーニングの成果を十分に発揮されるとともに、学連の仲間をはじめ地元の人々との交流を深め、良き思い出を作られますよう念願するところであります。

おわりに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げるとともに、大会の成功とオリエンテーリングの益々の発展をお祈り申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。

日光市長 斎藤 隆男

第22回日本学生オリエンテーリング選手権大会が、日光市と今市市を会場に、全国各地から多くの学生の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

日光市は、日光国立公園の中心に位置し、1200年以上の歴史を有する国際的観光都市として、その名を内外に知られています。東照宮をはじめとする「日光の二社一寺」の絢爛豪華な、あるいは質実剛健な建造物は、それぞれの時代における工芸美術の粹が集められています。

昨年12月には、東照宮、輪王寺、二荒山神社の103棟の建造物と境内地が、世界の貴重な文化遺産として「世界遺産」に登録されました。

加えて、男体山を中心とした2000m以上の山々、中禅寺湖をはじめとする大小様々な湖沼、日本三名瀑の一つである華厳滝に代表される数多くの瀑布、戦場が原、霧降高原に見られる雄大な湿原や高原、豊富な湯量を誇る温泉など、全ての自然を有し、日本を代表する自然景勝地の一つに数えられております。

さて、北欧を中心として発達したオリエンテーリングは、「健康・体力づくり」という理念のもと、豊かな自然を舞台に自らの身体の可能性を試すものであり、近年、人々の健康や体力に対する関心が高まりを見せるなか、今日の時代に相応したスポーツの一つであると存じます。

終わりに、選手の皆様のご健闘をお祈りすると共に、本大会開催にあたり、ご尽力をいただきました関係各位に敬意を申し上げ、歓迎のことばといたします。